



クリエートメディック株式会社

# 2021年度の決算概要と 今後の経営戦略

2022年2月14日(月)

代表取締役社長 佐藤 正浩

## ◆新型コロナウイルスの影響

### 国内

- 新型コロナのワクチン接種が普及
- 医療機関の手術件数、外来診療が改善
- オミクロン株の急速な拡大(12月以降)
- 営業マンの訪問規制
- 医療逼迫の懸念

### 海外 (中国)

- ・中国
  - オリンピック・春節を控えた感染対策
- ・ベトナム
  - ベトナム南部において感染拡大
  - ベトナムクリエートメディックの操業停止
  - 医療材料の需要拡大による原材料価格高騰
  - 原油価格や輸送費高騰によるコスト増加

# 営業成績



(百万円)

	前 期	計 画	実 績	前期比	計画比
売上高	10,830	11,086	11,698	+8.0%	+5.5%
営業利益	984	788	866	△12.0%	+10.0%
経常利益	952	800	1,009	+6.0%	+26.2%
当期純利益	659	559	660	+0.1%	+18.1%

## ■ 連結対象会社

・大連クリエート、クリエート国際貿易(大連)、ベトナムクリエート、九州クリエート

# 売上高(販売形態別)



(百万円)

自社販売		
		(前期比)
泌尿器系	3,187	(+7.7%)
消化器系	2,488	(+0.4%)
その他	1,208	(+0.4%)
合計	6,884	(+3.7%)

海外販売3,493百万円  
(前期比 +18.7%)

- ・中国 : 2,683百万円(+27.0%)
- ・輸出 : 744百万円(△4.9%)
- ・その他 : 65百万円(+38.4%)

OEM販売 1,320百万円  
(前期比 +6.0%)

- ・血管系 : 723百万円(+7.6%)
- ・看護検査 : 486百万円(+11.3%)
- ・その他 : 110百万円(△18.8%)

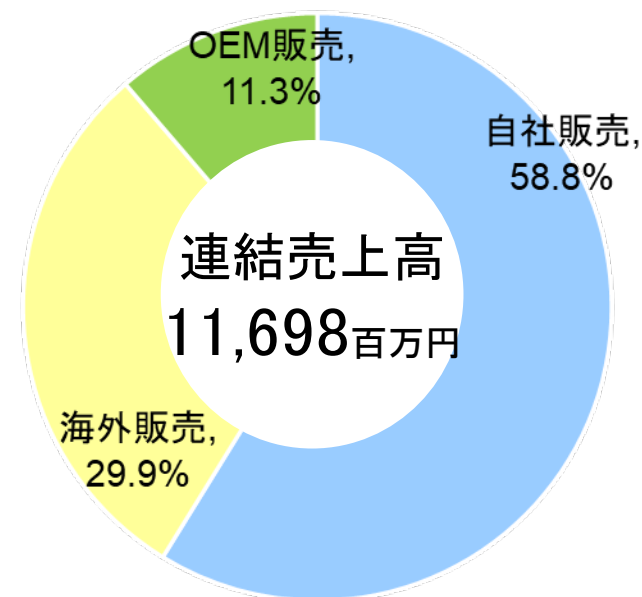
# 売上高



(百万円)

	前期	実績	前期比
自社販売	6,640	6,884	+3.7%
海外販売	2,943	3,493	+18.7%
OEM販売	1,245	1,320	+6.0%
合計	10,830	11,698	+8.0%

販売形態別 構成比



## 海外売上高比率

2020年: 27.2 %

2021年: 29.9 % (+2.7ポイント)

# 販売費・一般管理費



(百万円)

	前期	実績	前期比
人件費	2,583	2,764	+181
経費	1,509	1,629	+119
販管費	4,092	4,393	+300

- 人件費
  - △関係各社の定期昇給
  - △大連クリエートの研究開発部門の計上変更
- 経費
  - △大連クリエートの研究開発部門の計上変更
  - △売上伸長による荷造運搬費増加
  - △検査による支払手数料および人材派遣料の増加

# 営業利益



<営業利益の変動要因>

(百万円)

前期: 984

売上高の増加

+194M

為替の影響

+139M

ベトナムの原価上昇

△61M

原材料・物流コストの上昇

△40M

棚卸資産の評価損

△33M

販売費・一般管理費

△300M

当期: 866

# 経常利益・純利益



(百万円)

	前期	実績	前期比
売上高	10,830	11,698	+868
営業利益	984	866	△118
営業外収益	43	156	+112
営業外費用	75	13	△62
経常利益	952	1,009	+57
特別利益	48	68	+19
特別損失	17	112	+95
法人税等	324	305	△19
当期純利益	659	660	+0

- 営業外収益
  - ・受取利息など 71M
  - ・為替差益 84M
- 営業外費用
  - ・支払利息 6M
- 特別利益
  - ・中国重点産業奨励金 55M
  - ・ハイテク企業奨励金 12M
- 特別損失
  - ・投資有価証券評価損 75M
  - ・新型コロナによる損失 37M



# 設備投資・研究開発費

## 設備投資

設備投資：572百万円

(主な内容)

・日本国内

新基幹システム構築 354M

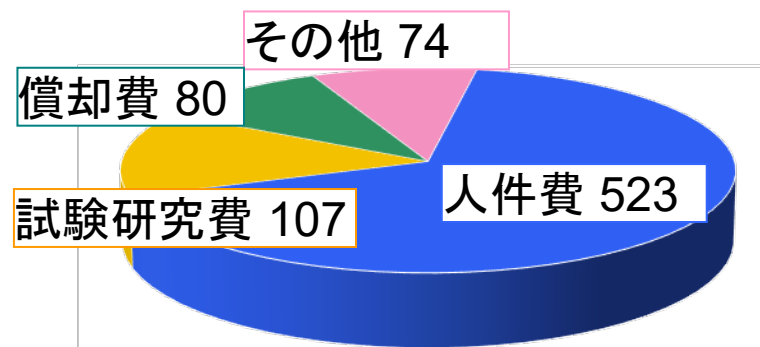
・海外

大連クリエートの自動化・省力化設備  
工場の改造工事など 200M

## 研究開発費

研究開発費：785百万円

・大連クリエート研究部門の計上変更



# 次期業績予想 (2022/12)



(百万円)

	前期	次期予想	前期比
売上高	11,698	11,802	+0.9%
- 自社販売	6,884	7,000	+1.7%
- 海外販売	3,493	3,493	+0.0%
- OEM販売	1,320	1,308	△1.0%
営業利益	866	881	+1.6%
経常利益	1,009	900	△10.9%
当期純利益	660	638	△3.4%

[想定レート USD = 113.5円]

## 重点施策

- ニューノーマルな営業戦略
- グループ内生産リスクへの対応
  - ・海外生産のリスク対策
  - ・原材料供給停止、価格高騰の対策
- 自社製品開発の充実
- 採算性の向上
  - ・生産ラインナップの適正化による原価低減
- グローバル事業の推進
  - ・MDRの移行
  - ・東南アジア等の新市場開拓
  - ・大連クリエートのOEM販売

## 東京証券取引所の新市場(2022年4月以降) スタンダード市場

(市場選択の背景)

- ・将来的な事業発展のため、  
新規事業や新製品開発への経営資源の集中
- ・株主の皆様が、当社株式を安心して保有・売買できる  
環境の維持

# 配当政策



	第2四半期末 (円 銭)	期 末 (円 銭)	合 計 (円 銭)
2021/12期	17.00	20.00	37.00
2022/12期 (予想)	17.00	20.00	37.00

**【将来予測に関する注意事項】**

当資料には業績予想並びにその他の将来予測が含まれておりますが、これらは現時点での見通しに基づくものであり、予期せぬ事象の発生若しくは経営環境の変化により実際の業績と異なる可能性があります。

2022年 2月14日